

[illegible]



かきしる  
一多様なるものなり

通動なるものなり  
多様なものなり

一何れも  
少くも

多様なものなり  
多様なものなり

多様なものなり  
多様なものなり

多様なものなり  
多様なものなり

多様なものなり  
多様なものなり

多様なものなり  
多様なものなり

多様なものなり  
多様なものなり

多様なものなり  
多様なものなり

多様なものなり  
多様なものなり

多様なものなり  
多様なものなり

多様なものなり  
多様なものなり



昔之常康子無能  
收之至者却環却月  
才七日才抵之於世之  
事以河海之文子考  
何之過也者之者乎  
先物相限之今月間  
中增強者之者乎  
為之自若方如如以  
疏之海部之者乎  
馬河平之者乎  
其至之過也者之者乎  
知者之者乎  
其之者乎

其之者乎  
其之者乎







Handwritten text on a piece of paper, likely a receipt or document, featuring Chinese characters and a red mark.





[illegible]



III  
The end of the world is  
the end of the world  
the end of the world  
the end of the world





[illegible]

之

中  
河  
口  
中  
人



石川  
村  
乃  
即

梅田  
長  
久

戸  
松村  
繁  
樹

松村  
乃  
即  
名





我之...  
...  
泉...  
...





Handwritten text in Japanese, likely a manuscript or letter, written in cursive (sōsho) style. The text is arranged in vertical columns. The rightmost column contains red ink markings, possibly a signature or seal. The paper is aged and shows signs of wear, including tears and discoloration.





三橋 玄新 師  
此を夕つらき也

碎礫乃た標  
きし 礫乃た

耕田日少を怖る  
是れ

一、二、三、と少田に耕て  
ゆく

是れ一回毎に月  
是れ

是れ事ゆゑの  
流さう

年にもう、之れ事  
是れ

是れ種子乾ぬ、  
是れ

抱ふのふと、  
乳母の、

是れ、  
夜、

幅、  
園、



流きうれ  
原くも来けくふさる

年れもく... 之地事  
る

時子乾ぬ庭の  
る

抱ふのふとほむさふ  
あにひふにわたり

乳母の「き」

起るんわぬん  
夜りのあきつる

幅幅 新 標  
園夜つる

永き夜と  
くきとあき 経 欲

白き花の標ぬ花や

花き花の思の

花経りさる花の

花ふりな

花ふりな

花のふりな

一ふのち花の経

花仙花



[illegible]



奉納謡囃子御魚  
本日土日能登生國三比古神社同三  
神社長午前十時了午後六時迄有志者集  
合奉納謡囃子執行仕之間此段御魚申上  
候也

明治庚午七月二十日

有急者應代

大井忠次

能登生氏比古神社祠官

櫻井祇良

大地主神社祠掌

大森一晴

下長

松田長明

石

下長

小川機一

石

縣令右村高俊殿

石

石

石

石